

段差がないって 大切なことなんですね

市民の皆さんを代表して、大学生の瀬間朋子さんにマイバスの体験乗車してもらいました。瀬間さんは、高齢者を疑似体験する器具や車いすを使用して乗車。お年寄りや障害を持つている人の視線から、マイバスのモニターとをして感想などを聞きました。

マイバスに乗るのは今回が初めて。実は、間近に見るのも初めてなんです。デザインがとてもかわいいです

ね。愛称やデザインを市民が決めたというのも、市民参加という意味でもいいと思います。親近感があって、一般の人が気軽に乗れるバスっていう気がするな。揺れが少なくエンジン音が小さく、乗り心地がいいです。このバスエンジンは、有害な排気ガスを出さない、天然ガスで動くそうですね。環境にも優しいんだなって感心しちゃいました。今回は、車いすに乗っての乗車と、高齢者を疑似体験する器具を着けて



高齢者の視点でマイバスを体験
初めての乗車に少し緊張気味

の乗車してみました。車いすでの乗車のときは、運転手さんが手助けしてくれてとても安心でした。車いすに乗ると、移動範囲が限られてしまつて、狭いと不安になってしまつものですね。でも、マイバスは天井が高く、不安を感じさせなくていいな。車内のデザインも、圧迫感がないようになっていて、車内のお知らせ用の液晶モニターも、大型で見やすかったです。いろいろ工夫されているんですね。バス停を通過するたびに運転手さんが声を掛けてくれるのも、身近な感じがしてとてもよかったですよ。

また、高齢者体験では、出入り口のノンステップのありがたさを実感しましたね。高齢になると、視野が狭くなって足下がよく見えなかったり、関節が曲がりにくくなつたりするようです。だから、普段は何気なく上り下りしている段差も、高齢者にはとても危険。マイバスは段差が少なく、乗り降りが楽でした。路線が家のそばまで延びたら、一緒に住むおばあちゃんの買い物にも使えるかもかもしれません。

ただ、マイバスがいくら乗り降りしやすくて、バス停に段差があると高齢者には大変です。マイバスの通る道の段差をなくすることも大事ではないでしょうか。それと、まだこのバスを知らない人が多いと思います。こんないいものができたのだから、もっと大々的に宣伝した方がいいと思います。

あと、バスの停留所の周辺に駐車場を整備すれば、車で身近な停留所まで行って、中心部へはバスで移動するという「パーク・アンド・ライド」の実践にもなつて、街が活性化するのではないのでしょうか。



瀬間 朋子さん 20歳
龍蔵寺町・高崎経済大2年